

命

を守る

シートベルト チャイルドシート



京都府内における後部座席
シートベルト着用率は
37.3%

(一般道路/H30.10月調査)

平成 30 年中における自動車乗用中の交通事故死者 15 人のうち、シートベルト非着用が9人で、そのうち6人が、シートベルトを着用していれば、生存可能であったと思われます。

自分の命や、家族などの同乗者の命を守るために、全席での着用を習慣付けましょう。

後部座席における非着用の危険性

● 車内の衝突



● 車外への放出



● 前の座席への衝突

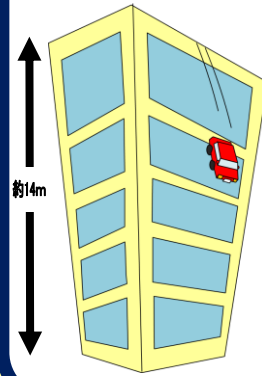


シートベルト非着用の場合、着用時に比べ、事故により死亡するリスクが約 15 倍になると言われています。

車の中に安全な席はありません。全席で着用しましょう。

着用の必要性

時速 60 キロで衝突した時の衝撃は、約 14 メートルの高さから落下した時と（ビルの5階に相当）と同じくらいの衝撃を受けると言われています。



事故時は、人間の力は全く及びません。

シートベルトやチャイルドシートは、まさに「命綱」なのです。

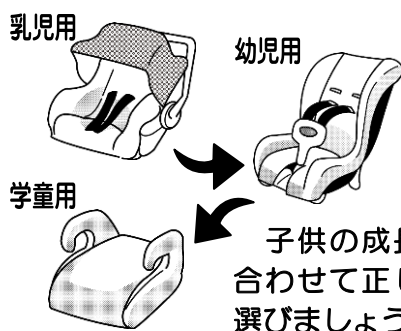
チャイルドシート使用時の注意

● 正しく取り付ける

取り扱い説明書に従って、しっかり取り付けましょう。



● 体に合ったものを選ぶ



子供の成長に合わせて正しく選びましょう。

● 卒業の目安は身長 135 cm



シートベルトは、135 cm以上の身長を想定して設計されています。ベルトが首にかからないようになるまでは使用が必要です。